

第25回 教育改革シンポジウム

入試のデザインを考える — 高大接続改革の中で教育の内部質保証を どのように担保するのか

平成26年12月の中央教育審議会答申および平成28年3月末に出された高大接続システム改革会議の「最終報告」に基づき、検討・準備グループ等により実施に向けた具体的な検討が行われてきました。その結果、「高校生のための学びの基礎診断」実施方針、「大学入学共通テスト」実施方針、および「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」が決定され、本年7月13日に発表されました。この間、国公私立の各大学協会・連盟からは意見が出され、大学入学共通テストにおける記述式試験の導入や英語4技能の評価をはじめ、いろいろと課題が残されていることが指摘されました。また国立大学協会の意見の最後の記述に代表されるように、「基本方針を策定するために必要な基本的な事項について」早急に明らかにされることが求められました。一方、予定通り入試改革を行うには、各大学は平成30年度にはその内容を予告・公表をしなければならず、その期限が迫っていることも事実です。このようなときこそ目の前のことに振り回されずに、何をよりどころに入試をとらえ、いかに入試をデザインしていくかが問われているのではないのでしょうか。

そこで今回の教育改革シンポジウムでは、我が国における戦後の大学入試制度改革の動きを踏まえつつ、各大学において入試の目標をどのように設定し、どのような原則に基づき、どのようにデザインすべきかについて、長年に渡り入試研究や入試設計の実務に携わられてきました東北大学の倉元直樹先生(高度教養教育・学生支援機構 高等教育開発部門入試開発室教授)をお招きし東北大学での実例も含めてご講演いただきます。その後、学内外からの参加者の皆さまと、入試のデザインや入試と入学後の教育の内部質保証との関連について、議論を深め、考えてみたいと思います。ご多忙中かと存じますが、是非よろしくご参集いただければと存じます。

日時

2017年 **9月12日(火)**
午後 1時～4時

講演

「入試のデザインを考える
— 大学入試の諸原則と高大接続改革の深層 —」

場所

大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター
10階会議室

倉元 直樹 東北大学 教授
高度教養教育・学生支援機構
高等教育開発部門入試開発室

お申込み・お問い合わせ

大阪市立大学 大学教育研究センター

E-mail : center@rdhe.osaka-cu.ac.jp

※当日参加も歓迎いたしますが、準備の都合上、**9月8日(金)**までに事前申込み(ご所属・お名前・ご連絡先)をいただけますと助かります。



主催 : 大阪市立大学 大学教育研究センター

共催 : 大阪市立大学 全学共通教育教務委員会・入試室・入試推進本部・AP事業プロジェクト推進委員会